

企業理念

新価値創造 for the next smile

セガトイズは「人間中心」人間を中心と考え、
「創造無限」無限大の想像力を活かして、
人々の次代の幸福を作り出してまいります。



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 上記の他必要がある場合は、あらかじめ公 告して基準日を定める
利益配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当金の支払を行うと きは9月30日
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

.....

株式会社 セガトイズ

本社：〒111-0052 東京都台東区柳橋1-4-4 ツイントラスビル
TEL 03-5822-6222
関西事業所：〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2-1-3
SORA新大阪21 6階
TEL 06-6395-7757

<http://www.segatoys.co.jp/>



第15期 中間事業報告書

2004年4月1日から2004年9月30日まで

Edutainment
Business

Family
Entertainment
Business

New Contents
Business

New Business Foreign
Business

いっしょに「まっ」としよ?



株式会社 セガトイズ

証券コード 7842



古紙配合率100%再生紙を使用しています



大豆油インキ使用

新価値創造

For the next smile

初めて経験する、楽しく、心豊かな生活を提案し、あなたの“思わずにっこり”を創ります。

セガトイズは「人間中心」人間を中心と考え、「創造無限」無限大の想像力を活かして、人々の幸福を作り出してまいります。



私たちは目指します

脱玩具業態

新ビジネスの構築により
「新価値創造」「新市場創造」で生き残る

エンターテイメント・イノベーター

顧客満足の創造で 利益を上げる

全く新しい遊びの価値を「顧客」に提供する

NEWマーケティングトイカンパニー

セガトイズは従来の玩具業界の枠にとらわれない、エンターテイメント・イノベーターとして全く新しい企業“ニューマーケティングトイカンパニー”を目指しています。工場等の製造設備を持たず、製品開発、マーケティング等に経営資源を集中し、製品の開発はデジタル等の新技術を活用した分野等いくつかのポイントに特化し、これまでになかった新しい遊びを提案し、新しいマーケットを開拓しています。

最先端技術を駆使し、マーケットを創造する最先端の経営を目指しておりますが、その一方で人々の「遊び」は極めて普遍的で、時代、年齢、地域等に関係なく、遊びを求めるマーケットはどこにでも存在します。私たちは最先端の経営と最先端の技術で、古来からある人々の「遊び心」を満足させ、豊かな気持ちを育む社会づくりを目指してまいります。

マーケティング活動が市場を創出し 顧客価値を最大にします

セガトイズにおいてマーケティングとは事業経営を指します。マーケティングが経営活動の全てをコントロールします。



Newコンセプトの創造

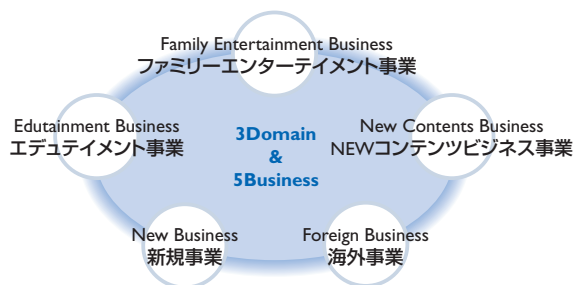
顧客のウォンツを見つけ、創造し、それを顧客満足におきかえる方法を生み出す。

それが、マーケッターの市場作りの領域。セガトイズの全ての業務に関わる人がこのマーケティングマインドを持って自分の仕事に取り組んでいます。すなわち『マーケティング活動が市場を創造し、顧客価値を最大にする』ことは当社の全ての業務に当てはまるのです。

共生共栄

ネットワーク時代の最も重要な哲学と言える「共生」を基本に、パートナーシップの精神を大切にしながら、アライアンスに積極的に取り組み、その中で、ビジネスと社会・文化の発展と繁栄を目指します。

マーケティング主導で進める 3つの事業ドメインと5つの事業戦略



3つの事業ドメイン

- Edutainment Business
エデュテイメント事業
- New Contents Business
NEWコンテンツビジネス事業
- Family Entertainment Business
ファミリーエンターテイメント事業

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第15期中間事業報告書（2004年4月1日から2004年9月30日まで）をお届けするにあたり、日頃よりのご支援に心から深く感謝をし、ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、輸出企業における収益改善や設備投資の増加など、国内経済における回復基調は強さを増し、明るい兆しが見えてまいりました。しかしながら、一方では年金保険料の引き上げや、配偶者特別控除の撤廃等で、将来に対する不安感が増すなど、個人消費の本格的な回復には至りませんでした。また、玩具業界におきましては、再建支援等玩具問屋が大きな変革期を迎えているとともに、小売業におきましても売上ベースが前期比で下回るなど、玩具業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社は前期末に掲げた「攻めの戦略」と「守りの戦略」の6つの基本施策をベースとして、当社の得意とするデジタル技術を活用し、新しいマーケットの開拓に取り組んでまいりました。セガグループとの協業ビジネスとして当中間期の大ヒット商品となりました「甲虫王者ムシキング」の「リモコンバトル」をはじめ、海外事業においては「Play TV（メガドライブ）」等を市場へ投入することができました。これらの結果、当中間期における業績は、売上高4,413百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益155百万円（前年同期は△65百万円）、中間純利益80百万

円（前年同期は△53百万円）となり計画を達成することができました。

今後も当社の3つの事業ドメインである「エデュテイメント事業」「ファミリーエンターテイメント事業」「NEWコンテンツビジネス事業」へ経営資源を集中し、各分野においてアライアンスの強化を図るとともに、海外事業の積極的な展開と、ムシキングをはじめとするセガサミーグループとのシナジー効果を最大限に発揮、活用してまいります。また、株主の皆様方への配当につきましては、無配となっておりますが、さまざまな施策を講じ早期に業績を回復させることにより、適正な配当ができるよう努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2004年12月



株式会社セガトイズ
代表取締役社長

国分功

この冊子をご覧くださいにあたって

本冊子は、株主・投資家の皆様に当社の経営方針、計画、財務状態等の情報を提供し、当社をより深くご理解いただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。従って投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

(単位：千円)

	前中間期	当中間期	前事業年度
売上高	4,213,653	4,413,494	8,528,700
経常利益	△65,412	155,620	△356,668
中間(当期)純利益	△53,383	80,000	△982,736
資本金	516,000	529,700	518,150
発行済株式数	5,555千株	5,692千株	5,576千株
純資産額	1,770,731	948,807	845,727
総資産額	5,646,726	4,855,279	3,989,376
1株当たり中間(当期)純利益	△9円60銭	14円24銭	△176円85銭
1株当たり中間(当期)配当金	—	—	—
1株当たり株主資本	318円76銭	166円69銭	151円65銭
自己資本比率	31.4%	19.5%	21.2%
営業活動によるキャッシュ・フロー	△724,377	10,776	△213,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,906	△118,343	△321,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	728,854	367,635	384,392
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	566,434	850,332	584,735

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

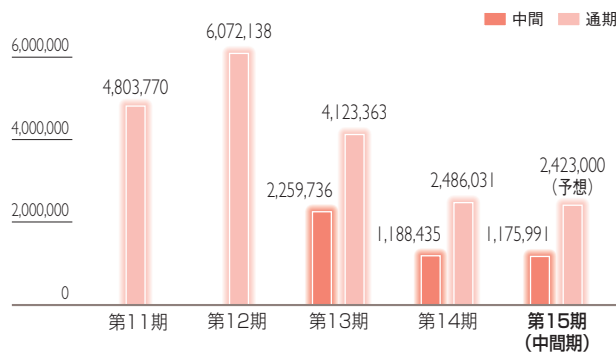
1株当たり中間(当期)純利益につきましては、期中平均株式数に基づいて計算しております。

エデュテイメント事業につきましては、ピコシリーズでは、ペリフェラルソフトとして人気キャラクター「ポケットモンスター アドバンスジェネレーション」をテーマとした「みんなでピコ ポケモンわいわいバトル!」、本物と全く同じキーボードとマウスを使ってパソコンごっこが楽しめる「パソコンピコ」を発売いたしました。ピコ本体は堅調に推移した反面、一般ソフトの販売は前年をやや下回ったことにより、売上高は前年同期比3.2%減となりました。ココパッドシリーズにつきましては、株式会社ベネッセコーポレーション向けの販売が好調に推移し、売上高は前年同期比16.3%増となりました。これらの結果、当中間期の売上高は1,175百万円(前年同期比1.0%減)となりました。



売上高推移

(単位：千円)



(注) 1 当期より新区分に変更しており、13期に通り新区分にて記載しております

2 15期末は予想数値です

ファミリーエンターテインメント事業につきましては、夢ペットシリーズでは、新製品「夢パンダ」「夢くま」を発売いたしました。また、「夢ねこ」「夢こねこ」の人气が一巡したことにより、売上高は前年同期比92.5%減となりました。デジタルキッズシリーズにつきましては、昨年のクリスマス商戦にて業界No.1アイテムとなりました「ペットノート」に加え、キャラクターを使用した新製品「お茶犬ぺっとのーと」を発売しましたが、売上高は前年同期比16.7%減となりました。NEWデジタルトイシリーズにつきましては、脳力を鍛える携帯ゲーム機「脳カトラーナー」を発売いたしました。6月に予定していたネコ型電動ぬいぐるみ「ニャーミー」の発売を8月に変更したことにより、売上高は前年同期比35.2%減となりました。ファミリーエンターテインメント（海外）につきましては、ソフト内蔵型TVGame「Play TV（メガドライブ）」の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比510.6%増となりました。これらの結果、当中間期の売上高は911百万円（前年同期比27.2%減）となりました。

NEWコンテンツビジネス事業につきましては、長期定番のアンパンマンシリーズは依然として根強い人気商品であり、「ピーンズマスコット」等のぬいぐるみの販売が好調に推移しましたが、アンパンマンミュージアムの主力製品「アンパンマンミュージアムDX」をリニューアルし販売の空白期間が生じたこと、年末向け新製品の発売を下期に変更したことにより、売上高は前年同期比19.9%減となりました。お茶犬シリーズにつきましては、「なごみのお家 リョクの部屋」の販売が引き続き好調に推移したことに加え、新製品「なごみのお家 湯のみの小部屋」「なごみのお家 でらっくす ポットハウスのお茶や」を発売したことにより、売上高は前年同期比4.5%増となりました。また、女儿キャラクターシリーズにつきましては、大人気のTVアニメ「あたしんち」の「きてきて あたしんち」の販売が引き続き好調に推移した反面、親子二世代キャラクター「キキ&ララ」の人气が一巡したことにより、売上高は前年同期比52.2%減となりました。男児キャラクターシリーズにつきましては、グループ協業ビジネス「甲虫王者ムシキング」の爆発的なヒットにより、売上高は590百万円となり、新たな収益の柱となりました。

■ 取扱製品




●脳カトラーナー
©SEGA TOYS 2004



●ニャーミー
©SEGA TOYS 2004



●ペットノート3
©SEGA TOYS 2004

■ 取扱製品



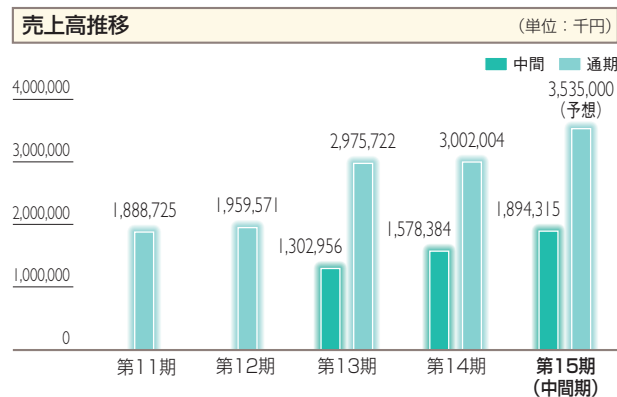
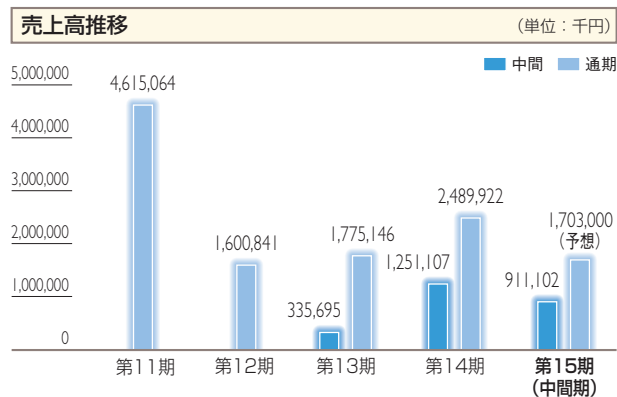
●お茶犬なごみのお家でらっくすポットハウスのお茶や
©SEGA TOYS / HORIPRO 2002



●アンパンマンくるくるコロロン
©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV



●きてきて あたしんち
©ママルード/メディアファクトリー・テレビ朝日・シンエイ・ADK



当中間期においては、親会社である㈱セガのエンターテインメント事業など、グループシナジーを最大化するため多方面での取り組みや事業化も積極的に推進してまいりました。具体的にはポーズ事業といたしまして、㈱セガのエンターテインメント機器で爆発的にヒットしている「甲虫王者ムシキング」の玩具として、「甲虫王者ムシキング リモコンバトル対決セット」を市場に投入した結果、爆発的なヒットとなり、グループシナジーの結果がでてまいりました。

今後はさらに、㈱セガとサミー㈱との統合がなされ、当社といたしましては、両社の強みである事業への積極的な参画とさらなるグループシナジー効果も期待されることから、新規事業へ積極的な展開を図るとともに、新しいトイビジネスを創造し、世界中のお客様に「笑顔」と「感動」をお届けするため、情報・技術・マーケティング等を積極的に推進してまいります。

■ 取扱製品



● 甲虫王者ムシキング リモコンバトル対決セット
©SEGA 2003



● スパイギア
©SEGA TOYS 2004



● ピコランド
©1976, 2004
SANRIO, LTD. APPROVAL No.S

当中間期の海外事業につきましては、㈱セガとのシナジー効果として、メガドライブの廉価版であるプラグインゲーム「Play TV (メガドライブ)」の製品化をし、海外向けに販売を行った結果、米国を中心にヒット製品となり、当中間期における海外売上大きく貢献をいたしました。この製品につきましては、今後も欧州をはじめ欧米向け製品の主力として積極的に展開をしてまいります。

また、中期計画における海外売上比率25%の目標達成のため、欧米の玩具メーカーとのアライアンスにつきましても、引き続き海外展開の戦略として積極的に取り組んでまいります。

■ 取扱製品



● Play TV (メガドライブ)

Game Software ©SEGA CORPORATION,
1988-1992 All rights reserved.
"SEGA and the Sega Logo are registered
trademarks of Sega Corporation."
Manufactured and distributed by Sega Toys.



aquapets™

● アクアペット
©2003 SEGA TOYS

(単位：千円)

科目	前中間会計期間末 (2003年9月30日現在)	当中間会計期間末 (2004年9月30日現在)	前事業年度末 (2004年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	5,035,364	4,211,396	3,365,016
現金及び預金	571,434	855,332	589,735
受取手形・売掛金	2,914,670	2,317,410	1,491,430
棚卸資産	1,016,805	625,843	725,214
その他の流動資産	532,452	412,810	558,635
固定資産	600,762	634,107	611,327
有形固定資産	257,659	188,257	138,763
無形固定資産	85,504	54,951	73,399
投資その他の資産	257,597	390,899	399,164
繰延資産	10,600	9,774	13,033
資産合計	5,646,726	4,855,279	3,989,376
(負債の部)			
流動負債	2,568,689	2,590,950	1,637,282
支払手形・買掛金	964,755	1,034,313	530,937
短期借入金	900,000	800,000	300,000
一年以内償還予定社債	30,000	50,000	50,000
一年以内返済予定長期借入金	200,000	260,000	260,000
その他の流動負債	473,932	446,635	496,343
固定負債	1,307,305	1,315,520	1,506,367
長期借入金	600,000	580,000	710,000
社債	570,000	610,000	635,000
その他の固定負債	137,305	125,519	161,366
負債合計	3,875,995	3,906,471	3,143,649
(資本の部)			
資本金	516,000	529,700	518,150
資本剰余金	537,177	550,877	539,327
利益剰余金	717,392	△131,960	△211,960
その他有価証券評価差額金	160	190	209
資本合計	1,770,731	948,807	845,727
負債及び資本合計	5,646,726	4,855,279	3,989,376

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

(単位：千円)

科目	前中間会計期間 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間会計期間 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	前事業年度 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
売上高	4,213,653	4,413,494	8,528,700
売上原価	2,495,401	2,816,878	5,192,792
売上総利益	1,718,251	1,596,615	3,335,908
販売費及び一般管理費	1,648,982	1,460,307	3,495,061
営業利益	69,269	136,308	△159,153
営業外収益	2,147	53,604	16,442
営業外費用	136,828	34,292	213,957
経常利益(又は経常損失(△))	△65,412	155,620	△356,668
特別損失	—	—	880,530
税引前中間(当期)純利益(又は 税引前中間(当期)純損失(△))	△65,412	155,620	△1,237,198
法人税、住民税及び事業税	1,931	1,931	4,141
法人税等調整額	△13,959	73,689	△258,604
中間純利益(又は中間純損失(△))	△53,383	80,000	△982,736
前期繰越利益又は損失(△)	770,776	△211,960	770,776
中間(当期)未処分利益又は 中間(当期)未処理損失(△)	717,392	△131,960	△211,960

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

- 商号 株式会社セガトイズ
- 英文商号 SEGA TOYS, LTD.
- 創業 1991年2月
- 代表者 國分 功
- 資本金 529百万円
- 従業員数 106名

■ 役員

- 代表取締役社長 國分 功
- 取締役副社長 中村 俊一
- 常務取締役 横関 謙治
- 常務取締役 吉野 繁
- 取締役 金井 明彦
- 取締役 山重 佳治
- 取締役(非常勤) 岡村 秀樹
- 取締役(非常勤) 佐藤 秀樹
- 常勤監査役 辻 勇
- 常勤監査役 櫻井 大三郎
- 監査役(非常勤) 菅野 曉

■ 主な事業の内容

事業	内容
エデュテイメント事業	教育的要素(エデュケーショナル)と玩具の楽しさ(エンターテイメント)を組み合わせた製品およびサービスを提供する事業
ファミリーエンターテイメント事業	当社オリジナルキャラクターまたは、版權元から契約により製品化許諾を受けたキャラクターを用いた製品およびサービスを提供する事業
NEWコンテンツビジネス事業	さまざまな種別のキャラクターコンテンツを、ユーザーとのインタラクティブ性に主眼をおき、デジタル技術を活用した製品およびサービスを提供する事業
新規事業	当社が今まで扱っていない事業領域向けや、まったく新しいトイビジネスを創造し、セガサミーグループシナジーの最大化が図れるような取り組みや事業化を推進する事業
海外事業	当社の製品や、セガサミーグループの資産を有効に活用し、世界中のお客様に笑顔と感動をお届けするため、情報・技術・マーケティングをグローバルに構築・展開する事業

- ① 社が発行する株式の総数 18,220,000株
- ② 発行済株式の総数 5,692,000株
- ③ 一単元の株式数 100株
- ④ 株主数 1,946名
- ⑤ 大株主(上位10名)

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社セガ	3,750,000	65.88
セガトイズ従業員持株会	289,400	5.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	228,000	4.01
シーエフピーユーロピークライアントエフピービル	59,000	1.04
永田伸二	52,500	0.92
國分功	51,400	0.90
横関謙治	26,400	0.46
金井明彦	25,700	0.45
吉野繁	21,400	0.38
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウントスラッククライアント	21,300	0.37

■ 所有数別株式状況(単位:株)

